



## 平成の芥川賞・直木賞作品 を読んでみませんか？

5月1日、元号が平成から令和に変わりました。平成時代の芥川賞・直木賞受賞作品にはどのような作品があったでしょうか。

平成を振り返り、普段本を読まない方、この機会に読書はいかがですか？

花見川図書館では、第101回（1989年(平成元年)）受賞作品からリストアップしました。

受賞した作品なので在庫が無いものもありますが、ご予約をいただければ、時間はかかりますが手に取り読むことができます。

個性のある作家さんの中から、お気に入りの作家さんを見つけるのも楽しいかもしれませんよ。

[○芥川賞資料リスト](#)

[○直木賞資料リスト](#)



### 芥川賞・直木賞 豆知識

文藝春秋社を創業した菊池寛が、旧友の芥川龍之介と直木三十五の業績を記念して1935年（昭和10年）に創設した文学賞です。

財団法人 日本文学振興会が授与を行っています。

選考会は、選考委員により、年2回、上半期7月と下半期1月に行われ、芥川賞受賞作品は『文藝春秋』、直木賞受賞作品は『オール読物』の9月号と3月号に掲載されます。

授賞者の記者会見と、その1ヶ月後の授賞式は、丸の内での東京會館で行われ、受賞者には、正賞の懐中時計と、副賞の100万円が授与されます。

※日本文学振興会とは？・・・芥川賞、直木賞、菊池寛賞、松本清張賞、大宅壮一ノンフィクション賞の選考と授与を行う公益財団法人。文芸春秋社内に事務所があります。

## 芥川賞

新進作家による純文学小説に与えられる文学賞。

新聞や雑誌に発表済みの短編・中編作品が対象となります。

受賞作は、雑誌『文藝春秋』に掲載されます（上半期は9月号、下半期は3月号に掲載）。

1935年(昭和10年)に発表された、第1回受賞作は、石川達三の『蒼氓<sup>そうぼう</sup>』でした。

現在の選考委員は、小川洋子、奥泉光、川上弘美、島田雅彦、高樹のぶ子、堀江敏幸、宮本輝、山田詠美、吉田修一の9名です。

## 直木賞

新進及び中堅作家による大衆小説に与えられる文学賞。

新聞・雑誌や、単行本として発表済みの短編・長編作品が対象となります。

受賞作は、雑誌『オール読物』に掲載されます（上半期は9月号、下半期は3月号に掲載）。

1935年(昭和10年)に発表された、第1回受賞作は、川口松太郎の『鶴八鶴次郎・風流深川唄 その他』でした。

現在の選考委員は、浅田次郎、伊集院静、北方謙三、桐野夏生、林真理子、宮城谷昌光、宮部みゆき、高村薫、東野圭吾の9名です。

